

MOL Sustainability Plan (MSP) ～Safety & Value～

| サステナビリティ課題 | 取組テーマ | 目標・KPI | 2024～2025年度アクションプラン | |
|--|----------|--|--|--|
|  <p>Safety & Value</p> <p>安全輸送・社会インフラ 事業を通じた 付加価値の提供</p> | 本業を通じた価値 | <ul style="list-style-type: none"> 海上輸送・社会インフラ事業を通じた持続的な価値の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 経営計画で掲げる各戦略の遂行 | |
| | | 輸送量（トンマイル） | — | |
| | 安全品質 | <ul style="list-style-type: none"> 貴重な人々・財産・環境を守り、信頼され続ける | | <ul style="list-style-type: none"> 安全を支える人材活躍の促進 テクノロジーを軸とした安全インフラの整備 リスク・危機の先制的な管理 相互啓発を通じた安全意識改革 あるべき組織体制・業務プロセスの追求 |
| | | 商船三井グループ共通 － 労災死亡事故件数 － 重大事故件数*1 － LTIF(Lost Time Injury Frequency)*1 | 0件 0件 — | |
| | | 安全運航 － 4ゼロ 重大海難事故 油濁による海洋汚染 労災死亡事故 重大貨物事故 － SPI (Safety Performance Indicator) LTIF(Lost Time Injury Frequency)*2 | 0件 0件 0件 0件 0.50以下（2025年度） 0.40以下（2030年度） 0.30以下（2035年度） | |
| | | 運航停止平均時間（時間/隻・年）*3 | 24.00以下（2025年度） 22.00以下（2030年度） 20.00以下（2035年度） | |
| | | 運航停止発生率（件/隻・年）*4 | 1.00以下（2025年度） 0.80以下（2030年度） 0.60以下（2035年度） | |
| | さらなる付加価値 | <ul style="list-style-type: none"> 社会ニーズに対応したサービスの創出 | | <ul style="list-style-type: none"> 既存プロジェクトの推進及び新サービスの模索 － 外国人人材事業、ブルーカーボン事業、(株)MOL PLUSの事業等 新規事業提案制度の継続的な実施 |
| | | サステナビリティ起点の新サービスに関する実績 | — | |
| | | 新規事業提案制度の事業化数 | — | |

*1 当社グループにおける事業セグメント毎に定義、設定する。 *2 100万人・時間あたりの労災事故発生件数（当社は乗船時間を分母として計算している）。

*3 機器故障や事故による船舶の年間運航停止時間を1隻あたりで表したもの。 *4 船舶の運航停止に至る機器故障や事故の年間発生件数を1隻あたりで表したもの。

MOL Sustainability Plan (MSP) ～Environment～

| サステナビリティ課題 | 取組テーマ | 目標・KPI | | 2024～2025年度アクションプラン |
|--|---------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|--|
|  <p>Environment 海洋・地球環境の保全</p> | 気候変動対策 | ● 2050年までにグループ全体でのネットゼロ・エミッションの達成 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境ビジョン2.2における各戦略の実行 <ul style="list-style-type: none"> －アクション1：クリーンエネルギーの導入 －アクション2：さらなる省エネ技術の導入 －アクション3：効率オペレーション －アクション4：ネットゼロを可能にするビジネスモデルの構築 －アクション5：グループ総力を挙げた低・脱炭素事業拡大 ● TCFD提言への対応強化 ● グループ会社との連携強化 |
| | | GHG排出総量*1 | 23%削減（2030年、2019年比） | |
| | | GHG排出原単位*2 | 1.4%/年削減（2030年までの平均、2019年比） | |
| | | | 45%削減（2035年） | |
| | | LNG燃料・メタノール燃料外航船隻数 | 90隻（2030年） | |
| | | Scope2電力 再エネ割合 | 100%（2030年） | |
| | | 燃費効率（トンマイル当たりのエネルギー消費量） | 5%改善（2025年、2019年比） | |
| | | 吸収・除去系カーボンプレジットの使用量 | 220万t-CO2e（2030年、累計） | |
| | 環境投資額 | 6,500億円（2023～2025年度の累計） | | |
| | 海洋環境保全 生物多様性保護 | ● 海洋環境及び生物多様性への悪影響の軽減 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 自然関連リスク及び機会の把握と分析の実施 ● KPI及び目標の検討 |
| | | ※今後、国際ガイドライン等に基づきKPI設定予定 | － | |
| | 大気汚染防止 | ● 船舶から排出される大気汚染物質の軽減 | | |
| | | SOx排出量 | － | |
| | | SOx排出原単位 | 14%削減（2030年、2020年比） | |
| NOx排出量 | | － | | |
| | NOx排出原単位 | － | | |

*1 当社グループ全体（連結範囲）における、スコープ1及びスコープ2が対象。

*2 当社グループの外航自社運航船における、スコープ1及びスコープ3の一部が対象。

MOL Sustainability Plan (MSP) ～Human & Community～

| サステナビリティ課題 | 取組テーマ | 目標・KPI | | 2024～2025年度アクションプラン | | | |
|--|------------|--|---|--|---|---|---|
|  <p>Human & Community</p> <p>人の活躍と 地域社会の発展</p> | 多様性 (DE&I) | ● 多様な人材が活躍できる就業環境の実現 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 人的資本獲得・配分の実行 ● 適所適材の実現に向けた施策の実施 ● テクノロジーを活用したタレントマネジメントの実施 ● 自律的なキャリア形成支援 ● エンゲージメント向上に向けた施策の実施 ● 人財部門の機能強化 ● 海技者を惹きつける「魅力」の強化 | | | |
| | | 単体陸上職 女性管理職比率 | 15% (2025年度) | | | | |
| | | MOL Group Key Positions (MGKP) *1在任者の構成比率 - 女性 - 本社外出身者 - 40代以下 | 8% (2025年度) 30% (2025年度) 15% (2025年度) | | | | |
| | 共走・共創 | ● 個人の能力とグループ全体での組織能力が最大限発揮されるよう、共走・共創のための環境の構築 | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 社会貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 重点分野に関連した活動の充実化 ● グループ会社との連携強化 ● グループ役職員の社会課題解決意識を高める取組拡充 ● モーリシャス地域貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 2つの基金を通じたNGO・NPO、学術機関等への継続支援 ● 助成団体間のネットワーク構築支援 ● 社会的インパクトを意識した活動成果の公表 | | |
| | | MVVの実現・実践に向けた対話機会の実施率 | 100% (2025年度) | | | | |
| | | 公募による異動件数 | 50件以上 (2025年度) *2 | | | | |
| | 働き甲斐 | ● 働いている意義や安心感を日々実感できるグループの実現 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 社会貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 重点分野に関連した活動の充実化 ● グループ会社との連携強化 ● グループ役職員の社会課題解決意識を高める取組拡充 ● モーリシャス地域貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 2つの基金を通じたNGO・NPO、学術機関等への継続支援 ● 助成団体間のネットワーク構築支援 ● 社会的インパクトを意識した活動成果の公表 | |
| | | エンゲージメントサーベイ (ES) 回答率 | 90%以上 (2025年度) | | | | |
| | | ES結果のうち「エンゲージメント」のKPIスコアが向上した組織の割合 | 70%以上 (2025年度) | | | | |
| | 地域との共生 | ● 事業で関わる地域の発展及び人々の活躍に寄与する活動の拡大 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 社会貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 重点分野に関連した活動の充実化 ● グループ会社との連携強化 ● グループ役職員の社会課題解決意識を高める取組拡充 ● モーリシャス地域貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 2つの基金を通じたNGO・NPO、学術機関等への継続支援 ● 助成団体間のネットワーク構築支援 ● 社会的インパクトを意識した活動成果の公表 |
| | | 社会貢献活動の実績 | — | | | | |
| | | モーリシャス地域貢献活動の進捗状況 | — | | | | |

*1 本社部長級ポスト及び当社グループ会社において本社部長級相当職と指定されたポスト（国内外を問わない）。

*2 2023年度～2025年度の累計。

MOL Sustainability Plan (MSP) ~Innovation~

| サステナビリティ課題 | 取組テーマ | 目標・KPI | | 2024~2025年度アクションプラン |
|---|-------------------|--|------------------------------|--|
|  <p>Innovation 海の技術を進化させる イノベーション</p> | クリーンエネルギーの導入・普及 | ● 船舶のクリーン代替燃料の導入と利用拡大 | | <ul style="list-style-type: none"> ● クリーン代替燃料の戦略的調達及び、確実な供給体制構築の推進 ● 関連技術開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> – アンモニア燃料船、メタノール燃料船、水素利用船、燃料電池・バッテリー利用等 |
| | | ネットゼロ・エミッション外航船 | 運航開始（2020年代中） 130隻（2035年） | |
| | | ゼロエミッション燃料使用割合 | 5%（2030年） | |
| | | ● 社会でのクリーンエネルギーの普及に寄与する技術の開発 | | |
| | | 次世代クリーンエネルギー運搬・供給船の開発状況 | – | |
| | | ● 次世代クリーンエネルギー運搬・供給船の開発推進 <ul style="list-style-type: none"> – 大型アンモニア運搬船・バンカリング船、液化水素運搬船、CO2運搬船等 | | |
| | 船舶の省エネルギー化 | ● 自然エネルギーの活用及び推進性能向上に寄与する省エネ技術の確立・普及 | | <ul style="list-style-type: none"> ● ウインドチャレンジャーの軽量化及び量産化（量産化規模の検討も含む） ● ローターセイル実装に向けた検討*1 ● その他省エネ技術の導入の促進 <ul style="list-style-type: none"> – PBCF*2、最適トリムシステム*3等 |
| | | ウインドチャレンジャー（硬翼帆式風力推進装置）搭載隻数 | 25隻（2030年） 80隻（2035年） | |
| | | その他省エネ技術の採用隻数 | – | |
| | ICTを活用した安全運航・効率運航 | ● 船舶のビッグデータ活用プラットフォームの構築・拡充（FOCUSプロジェクト等） | | <ul style="list-style-type: none"> ● FOCUSのバージョンアップ <ul style="list-style-type: none"> – 効率運航にかかるデータ項目の拡充・精査、LNG燃料船、代替燃料船への対応等 ● Fleet Guardianの開発・実証・実装 ● 実証実験を踏まえた開発計画の策定 ● 協業先の選定及び実装化に向けた検証の実施 |
| | | FOCUSプロジェクトの進捗状況 | – | |
| | | Fleet Guardianプロジェクトの進捗状況*4 | – | |
| ● 船舶の自律化技術の構築 | | | | |
| 自律化技術の開発状況 | | | | |

*1 風力を活用した推進補助装置。 *2 プロペラ装着型効率改善装置。船のプロペラ後方に発生するハブ渦を削減することで効率改善に貢献する。

*3 当社船長の経験に基づいた船舶の航行姿勢の知見を水槽試験・実船試験を通じて定量的に評価し、乗組員が容易に活用できるようグラフに表したものの。

*4 本船上の主機関等に取り付けた各種センサー情報をもとに、主機関のトラブルや故障を未然に防止する為の予兆診断を行うシステム

MOL Sustainability Plan (MSP) ~Innovation~

| サステナビリティ課題 | 取組テーマ | 目標・KPI | | 2024~2025年度アクションプラン |
|---|-------|--|---|---|
|  <p>Innovation 海の技術を進化させる イノベーション</p> | DX | <ul style="list-style-type: none"> デジタルを活用した、会社の生産性の改善及び組織・業務の最適化 | | <ul style="list-style-type: none"> 機能別標準業務の新設計・導入等の陸上向けDX案件の推進 船上書類作業のデジタル活用最大化等の海上向けDX案件の推進 チェンジリーダー育成施策の実行 グループ・グローバルでのICTインフラ整備による全体最適業務環境改善 |
| | | 価値創造業務・安全業務への転換率*1 | 10% (2025年度、累計) 20% (2030年度、累計) 30% (2035年度、累計) | |
| | | チェンジリーダーの数 *2 | - | |

*1 従業員が定型作業に掛けている工数を、デジタル活用、業務・組織の最適化により、新しい価値創造及び安全業務への工数に転換した比率。

*2 チェンジリーダーを「ビジネスモデル・業務プロセス・企業風土などの変革を担う存在」、「ビジネスやプロセスの課題を把握し、ありたい姿を描き、変革をリードする存在」と定義し、従業員をトレーニングによってチェンジリーダーへと育成した数。

MOL Sustainability Plan (MSP) ～Governance～

| サステナビリティ課題 | 取組テーマ | 目標・KPI | 2024～2025年度アクションプラン | | |
|---|-----------------------------|--|--|--|---|
|  <p>Governance 事業を支えるガバナンス・コンプライアンス</p> | 経営の透明性 | <ul style="list-style-type: none"> ● グループ総合力を発揮し、グローバルな成長に向けた経営の実現 ● 実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の構築 ● ステークホルダーとの対話を促す開示内容の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● コーポレート・ガバナンス基本原則 3 か条に基づく各種施策の実行 <ul style="list-style-type: none"> – 取締役会の実効性評価に基づく改善措置の継続的な実施 – スキルマトリックスに基づく取締役会構成の実現に向けたロードマップの策定 – 全社重要リスクに関する議論の充実 – コーポレート組織、営業組織及び地域組織の権限強化と相互牽制機能の充実 | | |
| | | 取締役会の実効性評価の結果 | | – | |
| | | コーポレート・ガバナンス審議会の審議状況 | | – | |
| | 情報セキュリティ | <ul style="list-style-type: none"> ● 重大ICTインシデント発生件数ゼロ | <ul style="list-style-type: none"> ● 重大ICTインシデント発生件数*1 | 0 件 | <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティインシデント運用体制・プロセスの拡充 ● 情報資産の管理強化及び運用状況の可視化 ● ICTセキュリティ・ゼロトラストセキュリティ強化ロードマップ策定 ● ICTセキュリティ対策状況調査及び改善措置の実施 |
| | | 責任ある調達 人権尊重 | | | |
| | 公正取引 贈収賄防止 | バリューチェーンマネジメントの実施状況 | – | <ul style="list-style-type: none"> ● 内部監査の体制強化及び監査結果に基づく改善措置の実施 ● コンプライアンス関連の教育・啓もう活動の継続的な実施 | |
| | | 人権関連の研修の実績 | – | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス違反件数ゼロ | <ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス違反件数*2 | | 0 件 |
| | | コンプライアンス窓口相談件数 | | | |
| | コンプライアンス関連の研修・e-learningの実績 | – | – | | |

*1 影響範囲に応じて定めた4つのインシデントレベルの内、レベル4（最も重大）に該当するもの。

*2 公正取引及び贈収賄に関連する重大なもの。